

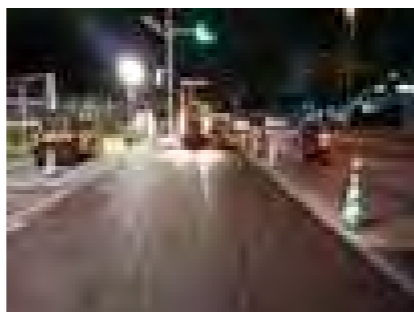
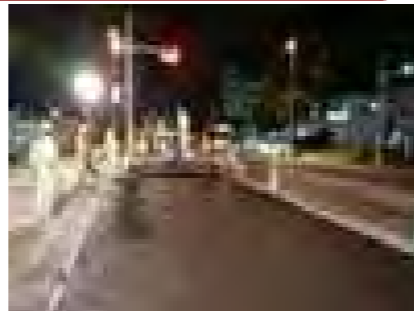
会員 だより



小禄地区現道改良(その1)工事!

会員の皆様、おつかれさまです。
今回は、現在施工している沖縄総合事務局発注の平成28年度小禄地区現道改良(その1)工事を紹介します。
当工事の小禄道路は那覇空港自動車道の一部を構成する道路であり、先程4車線化した糸満道路とともに那覇都市圏の渋滞緩和や那覇空港へのアクセス向上を目的とした位置づけの幹線道路です。当工事は将来的な小禄バイパス改良の一環として現在の車線を約半車線東側へ移行し、糸満方面から那覇空港向けの車線を拡幅し、現道を改良する工事を行っています。
現場は現道を1車線規制で施工するため、日々夜間工事で施工しています。毎日利用されていて少しづつですが、工事の進捗を感じられている方も多いと思います。
当初設計は切削オーバーレイ工でしたが、現地調査の結果全面打替え工に変更になり現場職員は限られた工期の中で大変苦労しながらも日々奮闘しています。工期末が7月末なのでもう少しで当工

事も終了しますが、これまで無事故で施工してきているので最後まで無事故無災害で工事を終えるようがんばりたいと思います。将来の小禄バイパスの第1歩の工事ですのでこの先に繋がっていると幸いです。



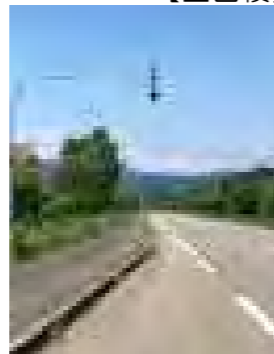
夜間工事で頑張る現場風景!



株式会社 呉屋組 代表取締役社長 呉屋 明

ご旅行の際、標識にも目を向けては如何だろうか。

【企画積算室室長 座間味 栄良】



国道273号(糠平国道)!



国道273号(糠平国道)!



搭載車スッテカー!

会員 だより



発見沖縄には無い北海道の標識!

今年6月初旬、所用で初夏の北海道へと向かった。那覇空港出発時の気温は、28℃6時間程で到着したとかち帯広空港の気温は、7℃南北に長い日本列島を再認識させられた一瞬でした。
沖縄では水平線を目にするが、酪農が盛んな十勝地方では見渡す限りの地平線を望むことができる。地平線へ向かって伸びる一直線の道を走行中、道路脇に目をやると、沖縄では見たことが無い赤白の空中から吊るされた下向きの矢印が、等間隔で両サイドに設置されている。それは「矢羽根(付ポール)」といって、冬場積雪で見えなくなった外側線を指している標識であり、矢羽根のおかげで、路肩を意識して安全に運転できる積雪道では大切な標識だそう。
また、郊外へ出ると“シカ衝突”の標識が、目につく。北海道には野生のエゾ鹿が生息しており、注意喚起を呼びかけ、その対策の一環として、レンタカーには鹿笛が搭載されている。
構造は、走行中の風圧により笛が鳴る仕組みで人間には聞こえない周波数で音が鳴り、動物だけに効果があるそうです。普段何気なく目にしている標識だが、他府県へ行くと新発見があるものだ。

活動報告・トピックス

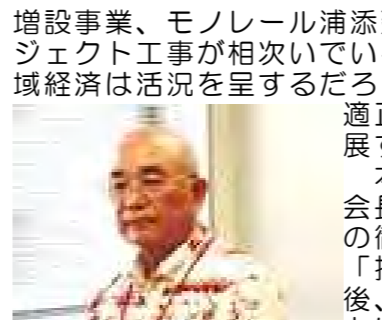


① 第39 回定時総会 および意見交換会

雇用環境の改善で人材確保!



総会で開催挨拶をする与那嶺支部長



挨拶を行う増永会長

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部の平成29年度第39回定時総会が6月8日(木)ザ・ナハテラスで開催されました。
開催に当たり与那嶺支部長は「沖縄では入域観光客が870万人余となるなど観光業は順調であり、加え那覇空港滑走路増設事業、モノレール浦添延伸事業など大型プロジェクト工事が相次いでいることから、当面、地域経済は活況を呈するだろう」と見通しを述べ、適正利潤で業界全体が発展すると挨拶しました。
本部からは、増永修平会長がコンプライアンスの徹底を改めて表明し、「担い手の確保育成が今後、重要であり、給与を上げるだけでは長く就労してもらえない環境ではない。週休2日を実現しよう」と挨拶しました。
総会では、平成28年度事業報告(案)、平成28年度決算(案)会計監事の異動に伴う役員選任の承認の3議案が全会一致で承認されました。また、平成29年度事業計画及び平成29年度予算について報告があり、同じく全会一致で了承されました。
また、総会に先立ち協会功労者表彰者の表彰状の授与が行われ、技能社員表彰として上原秀智氏(琉球開発(株))、江田守男氏(琉球開発(株))、龍美直輝氏(琉球開発(株))、永山達也氏(株)第一三興建設の4氏に増永会長から表彰状と記念品が授与されました。
総会後は会場を移し、増永会長外本部役員も同席の上、沖縄総合事務局開発建設部との意見交換会を開きました

沖縄総合事務局開発建設部との意見交換会!

開会に先立ち 与那嶺支部長は「沖縄局幹部、道建協本部役員及び支部と合同で意見交換会を開くことは、支部の事業活動の中で最も重要な活動と



今月の予定

- ① 第2回 技術・積算委員会 支部会議室
7月4日(火)11:00~13:00
- ② 第2回 企画・広報委員会 支部会議室
7月11日(火)11:00~13:00
- ③ 第2回 正副委員長会議 支部会議室
7月21日(金)11:00~13:00
- ④ 第15回安全講習会 浦添市産業支援センター
7月25日(火)13:10~16:40

して位置付けている。提案議題について、忌憚ない意見、指導がもらえると期待している」と挨拶した。増永会長は「i-Constructionの導入、担い手確保、コンプライアンスの徹底などに取り組む。そして沖縄の振興・発展に微力ながら取り組む」と述べた。
沖総局の菊地春海次長は「意見交換会を楽しんでいる。沖縄は車社会なので、道路整備が重要。協会の果たす役割も大きい」と話した。
意見交換の議題は①公共工事予算の安定的・持続的な確保②道路舗装工事におけるi-Constructionの推進③道路舗装工事における労働環境の改善④生産性の向上⑤道路舗装の予防保全の推進⑥「観光立国の実現」に向けての6項目。このうち②~④に関して集中的に意見を交わした。
道建協側は道路舗装工事におけるi-Constructionの推進と普及に関して、①情報化施工機器を賃貸する場合の最低保証日数を考慮し、施工規模は最低限8300平方メートルすることなど7項目を要望。
これに対し沖総局側は「全国に比べ舗装工事の発注件数が少ないうえ、舗装面積も小さいことから、ICT対象の舗装工事の規模を3000平方メートルを基準に発注方式を変更している。そして試行工事の件数を一定程度確保することで、ICT舗装工事を推進していくことが有効と考えている」と回答するなど活発な意見交換を行い閉会した。



活発な意見交換を行う会場

② 第130回 道路美化・清掃活動

6月20日(火)に予定していた道路美化清掃活動は悪天候のため中止となりました。